

卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧

〈卒業論文〉

糸田川五大 一九九〇年代のEコマースの伸長について

松本 太一 明治時代における法人の概念に関する一考察

山越 紘子 岡倉天心の思想と、それに対する国内外からの評価、
また後世への影響

吉井 知之 戦国期大内氏の警固衆指揮官―「大内氏当主側近
層」との関わりから―

岡本健一郎 毛利氏の国人統制

門脇 拓史 摂関期の天皇と宗教儀礼―神仏隔離を中心に―

齋藤 太一 樺太「陸接国境」警備とその歴史的位置付け―日ソ
国交正常化期から総力戦体制期まで―

鷺 慶亮 衾御教書の定義と捕捉力に関する一考察

長濱 峻朗 室町〜戦国期における地域支配の構造―摂津守護代
薬師寺氏の事例―

原 基香 蝦夷地産物流通と箱館産物会所―江戸の松前最寄問
屋の動向を中心に―

森田陽太郎 南北朝期室町幕府の関東支配について

青山 直毅 院政期女院と貴族社会

井内 康徳 満州事変前後における満州移民政策の形成過程に関
する考察

井上 拓人 中世前期における大隅国正八幡宮の造営事業と宗教
的権威

内田ひたき 明治三〇年代の保稅倉庫制度に関する考察

柏木 克仁 上杉謙信と関東の国衆について

釜井 瑛生 中世武家の親子と社会―継承と義絶の問題から―

菊地 智博 嘉永末〜安政初めの江戸における火薬流通とその規
制

桑田 翔 日清戦後経営期農商務省の研究―金子堅太郎次官期
を中心に―

小峯 啓 「学徒出陣」再検討

櫻 聡太郎 日本古代における積奠の継受と展開

杉田 建斗 古代における斎王と斎宮寮

滝野祐里奈 内務省社会局と移民政策―一九二〇年代におけるそ
の参入と推進の意図をめぐって―

谷川 竣太 太平洋戦争期における新聞統制の実態―情報局を中
心に―

林 遼 室町期南都伝奏の役割とその変遷

原田 貴之 選挙制度をめぐる立憲政友会代議士の動向―大正八
年法成立から大正一四年法成立に至るまでを中心
に―

平松 実咲 寺院童はなぜ必要とされたのか 醍醐寺青瀧会を中

心に

増田紘太郎 太平洋戦争期日本海軍の士官人事制度とその運用

山本 一夫 津山藩舟肝煎役と幕領廻米請負

渡辺 真優 戦前石油行政の考察―資源論の立場から―

増成 慎彦 幕末の捕鯨業からみる紀州古座浦の社会構造

門脇 愛 一九五〇年代の新制高校生の平和運動についての―

考察―第一次日本戦没学生記念会を中心に―

大高 広和 日本古代国家と辺境

佐藤信〈主査〉・大津透・鉄野昌弘・早乙女雅

博・山口英男

国分 航士 明治立憲制における宮中と府中の関係

野島(加藤)陽子〈主査〉・鈴木淳・季武嘉也・

坂本一登・西川誠

嶋 理人 戦前期日本の民間社会資本事業―電鉄事業者の兼営

電気供給事業に着目して―

鈴木淳〈主査〉・野島(加藤)陽子・中村尚史・

老川慶喜・高嶋修一

樋口 真魚 近代日本と「集団安全保障外交」の模索

野島(加藤)陽子〈主査〉・鈴木淳・牧原成征・

酒井哲哉・武田知己

屋良健一郎 琉球・日本の外交と文化交流

高橋典幸〈主査〉・長島弘明・三枝暁子・渡辺美

季・村井章介

乙(論文博士)

近藤 成一 鎌倉時代政治構造の研究

高橋典幸〈主査〉・大津透・六反田豊・新田一

郎・五味文彦

中心に―

〈修士論文〉

石野 夏幹 貴族院議員と鉄道問題―1890年代の貴族院に

おける国家利害と反国家利害―

中山 翠 中世後期における勧進からみた社会関係の形成

飯島 直樹 昭和期の元帥府と元帥

内野 恵佑 律令制神祇祭祀の展開と神祇官

廣瀬 翔太 近世初期熊本藩における軍事動員と家臣団編成

三村 佳緒 第三次日英同盟と日英両国の同盟認識―「対露軍事

同盟」から「仮想敵国なき同盟」へ―

章 霖 旧日本海軍に於ける「戦争以外の軍事行動」(M O

O T W) について―大正期関東州沿岸への巡航を

〈博士論文〉(授与年月日が二〇一六年四月以降二〇一七年三月までの

もの、審査委員名を付記した)

甲(課程博士)